

平成30年度当初予算のポイント

四日市市財政経営課 TEL. 354-8130

1. 当初予算の編成

国において、平成30年1月に閣議決定された「平成30年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」によると、平成29年度の経済動向は「雇用・所得環境の改善が続く中で緩やかに回復している」とされ、実質国内総生産（GDP）成長率が1.9%程度と、7月の年央試算で示された1.5%を上回る成長を見込んでいます。さらに、平成30年度の経済見通しについても、引き続き、「民需を中心とした景気回復が見込まれる」とされています。

このような経済情勢が続く中、本市においては、市内企業の好調な業績やIT関連企業の大型設備投資に支えられ、平成30年度当初予算において、過去最高の市税収入を計上し、一般会計で過去2番目の規模となる積極的な予算編成を行いました。

平成30年度当初予算の編成にあたっては、7つの基本方針を踏まえて第3次推進計画事業へ重点的に予算を配分し、より一層の事業進捗を図るとともに、公共施設やインフラの老朽化対策のペースを加速させるため、更新や維持補修に係る経費に優先的に予算を配分しました。

一方、経済環境の変化は激しく、市税収入が急減するリスクも十分に認識しておくことも必要であり、より一層の財政の健全化を推進していくため、大規模投資事業の財源として基金を有効活用するとともに、引き続き、市債を償還額以上に発行しない方針のもと、交付税措置のない市債の発行を抑制し、将来世代の負担の削減に最大限努めました。

2. 予算規模

上記の方針に基づいて編成した平成30年度当初予算の規模は次のとおり。

	〔予算額〕	〔対前年度比〕
一般会計	1168億4600万円	(7.7%)
特別会計	761億8600万円	(Δ7.0%)
企業会計	663億9430万円	(4.9%)
財産区	4510万円	(3.9%)
計	2594億7140万円	(2.3%)

国の一般会計予算	対前年度比	0.3%
地方財政計画	〃	0.3%※
(※東日本大震災分を除く通常収支分)		

3. 総合計画の着実な推進

平成30年度は、総合計画の「第3次推進計画」の二年目にあたることから、計画期間内の目標達成を目指して、より一層の事業進捗を図るほか、次期総合計画を見据えて、新たな施策・事業の構想や事業化に向けた検討等を加速するため、重点的・集中的に財源を配分した。

○第3次推進計画事業の予算額

(総合計画の基本目標)	30年度当初予算額	29年度当初予算額
1 都市と環境が調和するまち	8,757,971千円	7,344,104千円
2 いきいきと働ける集いと交流のあるまち	1,821,849千円	960,035千円
3 誰もが自由に移動しやすい安全に暮らせるまち	10,265,327千円	9,876,568千円
4 市民が支えあい健康で自分らしく暮らせるまち	5,310,602千円	3,439,054千円
5 心豊かな“よっかいち人”を育むまち	8,561,565千円	4,624,426千円
6 その他	16,842千円	
	計 34,734,156千円	26,244,187千円

(対前年度比32.3%増)

31万人元気都市四日市「選ばれるまち」を目指して

わが国では、団塊世代がすべて後期高齢者となる2025年に向けて、人口減少・少子高齢化が本格的に到来する時代となっており、自治体間において交流人口・定住人口を巡る都市間競争が、今後、ますます激しくなっていくことが予想されます。

この都市間競争を勝ち抜くため、本市は、交流人口・定住人口を着実に伸ばし、本市の競争力や魅力をより高め、市内外の方々に「**選ばれるまち**」となることを目指しています。

そのため、**7つの基本方針**として、

- ①「**子育てするなら四日市、教育するなら四日市**（子育て支援・教育支援の充実）」
- ②「**地域経済の拡大・活性化**（産業振興）」
- ③「**地域力の向上**（地域の魅力向上、安全・安心、都市インフラの充実）」
- ④「**まちの賑わいの創出**（人々が集まり行き交うまちづくり）」
- ⑤「**福祉・医療の充実**（これからも住み続けたいまちづくり）」
- ⑥「**市役所改革**（市民サービスの向上、行財政改革）」
- ⑦「**情報発信**（シティプロモーション）」

を掲げ、本市が一丸となって、既存事業の充実や新たな取り組みへ積極的にチャレンジしていきます。

さらに、平成30年度には、市民の皆様と新たな四日市の将来像を創り上げていくため、現総合計画の計画期間2011～2020を1年間前倒しして、2020年度（平成32年度）を計画期間のスタートとする新総合計画の策定に向けた準備に着手します。

4. 新規事業、主要事業

凡例：太線はシティプロモーション部関係予算、
二重線はスポーツ・国体推進部関係予算

総務費

- ①【**拡充**】総合計画推進事業費（当初予算資料 P30） 予算額 18,242 千円
少子高齢化の進展する人口減少社会にあっても、新たな政策課題に迅速かつ的確に対応し、市内外の方々から選ばれる「元気都市四日市」を実現していくため、平成 30 年度から 2 ケ年をかけて次期総合計画を策定する。また、現総合計画に基づく第 3 次推進計画（平成 29～32 年度）の着実な推進を図る。
- ②【**拡充**】姉妹友好都市交流事業費（当初予算資料 P35） 予算額 18,111 千円
平成 30 年 10 月に姉妹都市ロングビーチ市と提携 55 周年を迎えるにあたり、両市訪問団の相互訪問や市民による訪米及び文化交流を実施するほか、ロングビーチ市への交換学生・教師の派遣事業や天津市との経済交流事業を進め、両市との友好親善を図る。
- ③【**拡充**】地域防災力向上支援事業費（当初予算資料 P22） 予算額 44,141 千円
「自助」「共助」による住民の取組を推進するため、地区防災組織の活動や資機材導入を支援するとともに、女性や家族層を含めた防災・減災にかかる知識の向上や人材育成を推進する。【**拡充**】また、水防法改正を受けて、新たに公表された河川の浸水想定等に基づくハザードマップを作成する。
- ④ 総合防災拠点整備事業費（当初予算資料 P23） 予算額 130,000 千円
大規模災害時に、全国からの救援物資の受入れや、消防・自衛隊等の受援拠点など様々な用途に活用可能な総合防災拠点を神前地区に整備するため、造成工事等を行う。
- ⑤【**拡充**】避難施設等整備事業費（当初予算資料 P24） 予算額 12,240 千円
大規模災害時における生活用水の確保やトイレ環境の整備、通信手段の確保のため、
【**拡充**】貯留式マンホールトイレの調査設計や、浅井戸が設置できない指定避難所に浄水器を配備するほか、事前配備の災害時用公衆電話である特設公衆電話を設置する。
- ⑥【**拡充**】住宅等耐震化促進事業費（当初予算資料 P25） 予算 219,266 千円
(うち沿道建築物耐震化促進事業 43,700 千円)
大規模地震から市民の尊い命と財産を守るため、住宅・建築物の耐震化を促進する。また、耐震診断が義務付けられた第 1 次緊急輸送道路の沿道建築物について、耐震診断及び【**拡充**】耐震補強計画策定にかかる費用の一部を補助する。
- ⑦ 文化会館大規模改修等事業（当初予算資料 P67） 予算額 666,400 千円
市民が安全に文化会館を利用できるよう、第 1・第 2 ホール等の吊天井崩落対策工事を実施する。併せて、市民の利便性向上や施設の長寿命化を図るため、トイレ洋式化、第 1 ホール客席更新、屋根防水対策などの大規模改修工事を実施する。
・工事期間 平成 30 年 1 月～平成 31 年 9 月（予定）
- ⑧ 中央緑地運動施設整備事業費(国体関係)(当初予算資料 P171) 予算額 4,992,000 千円
平成 30 年の高校総体・平成 33 年の三重とこわか国体開催に向け、中央緑地に新体育館、フットボール場の整備を行う。
(供用開始時期：新体育館は平成 32 年春頃、フットボール場は平成 30 年 5 月)

- ⑨ 中央緑地運動施設整備事業費（当初予算資料P172） 予算額 127,800千円
中央緑地陸上競技場において、利用者の安全性及び利便性の向上を図るため、経年劣化が著しい箇所の改修等を行う。
（中央緑地陸上競技場スタンド棟改修工事、中央緑地陸上競技場芝・トラック更新工事のための測量・設計）
- ⑩ 霞ヶ浦緑地運動施設整備事業費(国体関係) (当初予算資料P173) 予算額 817,400千円
平成30年の高校総体・平成33年の三重とこわか国体開催に向け、霞ヶ浦緑地にテニスコート、野球場の整備を行う。
（供用開始時期：テニスコートは平成30年5月、新野球場は平成32年夏頃）
- ⑪ 霞ヶ浦緑地運動施設整備事業費（当初予算資料P174） 予算額 313,000千円
霞ヶ浦緑地内スポーツ施設において、利用者の安全確保及び市民大会などの大会運営機能をさらに向上させるための改修を行う。
（霞ヶ浦プール改修工事、霞ヶ浦第2野球場スコアボード改修工事）
- ⑫ 証明書のコンビニ交付事業（当初予算資料 P70） 予算額 54,774 千円
証明書のコンビニ交付サービスの平成 30 年度第 4 四半期からの実施に向けて、システム構築、環境整備及び関係条例等の改正を行うとともに、広報、ホームページ、ポスター等により市民への周知を図る。

民生費

- ①【拡充】子ども医療費助成事業（当初予算資料 P101） 予算額 1,059,790 千円
中学校修了前までの子ども医療費の助成を行い、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るとともに、平成 30 年 4 月から未就学児を対象に子ども医療費の窓口負担無料化を実施する。
- ②【拡充】成年後見サポート事業費（当初予算資料 P79） 予算額 21,652 千円
成年後見サポートセンターの事業について、サポートセンターに求められる支援の内容が、複雑化・多様化しているため、相談支援体制の充実を図り、更なる利用の促進に努める。
- ③ 認知症高齢者グループホーム建設費補助金(当初予算資料 P86) 予算額 32,000 千円
認知症の高齢者が住み慣れた地域で共同生活をしながら介護を受けることができるよう認知症高齢者グループホームの整備を推進し、地域における介護拠点の充実を図る。
認知症高齢者グループホーム：2カ所（海蔵地区、楠地区）（うち、1カ所は当該補助金を活用しない。）
- ④ 病児保育室整備事業（当初予算資料 P98） 予算額 28,926 千円
市内3カ所目（下野地区）となる病児保育室の施設整備費及び備品購入費を補助する。
- ⑤【拡充】学童保育推進事業（当初予算資料 P102） 予算額 472,172 千円
利用児童数の増加に伴い、地域の運営委員会が整備する学童保育所の新築、大規模改修等に対する補助の割合及び上限額を拡大する。

- ⑥ 児童発達支援センターあけぼの学園移転整備事業（当初予算資料 P103）
予算額 1,185,695 千円

市が保有する県地区社会福祉事業用地（下海老町地内）に児童発達支援センターあけぼの学園を移転するため、建物の建築工事等を実施する。

- ⑦【拡充】私立幼稚園保育料第3子以降無償化事業（当初予算資料 P100）
予算額 13,420 千円

私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、所得に関わらず長子の年齢制限を完全撤廃し、第3子以降の児童にかかる保育料を無償にする。

- ⑧ 民間保育所等整備事業（当初予算資料 P97）
予算額 895,951 千円

（仮称）たいすいノース保育園の新設（定員 120 名）、（仮称）日の本第二保育園の新設（定員 90 名）、（仮称）ひばり第二保育園の新設（定員 60 名）などに要する施設整備費を補助する。

衛生費

- ①【拡充】検診事業費（当初予算資料 P91）
予算額 29,654 千円

働く世代の女性のがん対策として、乳がん検診の習慣化に向け、受診勧奨を行う年代を現行の 40 歳代に加え 50 歳代の女性にも実施する。

- ②【新】クールチョイス普及啓発事業費（当初予算資料 P125）
予算額 3,000 千円

市民や事業者と連携した地球温暖化対策を進めるため、環境省が推進する国民運動「クールチョイス」（賢い選択）の普及啓発を展開する。

- ③【拡充】地球温暖化対策事業費（当初予算資料 P124）
予算額 41,600 千円

低炭素社会の実現に向けて、「創エネ」「省エネ」「蓄エネ」を柱としたスマートシティの視点を取り入れながら、市民の新エネルギー設備等導入促進を図る。また、中心市街地におけるまちづくり施策（都市機能誘導施策等）と整合したスマートシティの推進について、調査・研究を進める。

農林水産業費

- ①【新】GAP等認証取得推進事業費（当初予算資料 P110）
予算額 1,690 千円

販路拡大や農業経営力・競争力の向上を図るため、農産物の安全性及び品質の向上、環境の保全等を推進する「GAP（農業生産工程管理）」や、危害の防止につながる特に重要な工程を継続的に監視・記録することにより、製品の安全性を確保する衛生管理手法である「HACCP（危害分析・重要管理点）」を普及推進し、認証取得に向けて取り組む農業者の支援を行う。

- ②【拡充】6次産業化ステップアップ支援事業費（当初予算資料 P111）
予算額 1,114 千円

自家農産物の高付加価値化や、新たな販路の開拓など、農業経営の多角化・ビジネス化のための講座等を拡充し、加工品の開発や販売に加え、情報発信力を強化することにより、6次産業化に取り組む農業者等を育成・支援する。

- ③【新】農業センター基本構想策定事業費（当初予算資料 P112） 予算額 3,000 千円
農業再生戦略会議での議論や生産者団体などの意見も十分参考にしながら、農業者のトレーニングや6次産業化を支援できるような場としての活用など、農業センターが今後求められる役割、機能等について、調査、検討を進める。

商工費

- ① 企業立地奨励金交付事業費（当初予算資料 P113） 予算額 1,350,000 千円
新規の企業立地や既存企業の新規設備投資、新規産業の創出などを誘発するために制定した四日市市企業立地促進条例に基づき立地奨励金を交付する。
- ②【新】四日市コンビナート先進化推進事業費（当初予算資料 P114） 予算額 6,000 千円
臨海部コンビナート企業によるプラットフォームにおいて、国際競争力強化や環境負荷軽減等コンビナートの先進化に向けた取り組みやコンビナート内外の企業連携の可能性などについて調査検討を実施する。
- ③【新】商店街共同施設安全対策事業費（当初予算資料 P116） 予算額 8,000 千円
商店街振興組合又は発展会が所有する商店街のアーケード等共同施設が、老朽化していることから、その安全対策事業に対して支援することで、安心・安全な商店街づくりを促進する。
- ④【新】中小企業 I o T 等活用促進事業費（当初予算資料 P117） 予算額 4,600 千円
生産性向上や低コスト化、省力化、製品の高付加価値化等に繋げるため I o T 等を用いた設備投資に意欲のある市内中小製造業者に対し、外部の I T 専門家の活用や I o T 導入等にかかる経費の一部を補助する。また I o T 導入に関する個別相談会も併せて実施する。
- ⑤【新】萬古焼陶祖・沼波弄山生誕 300 年事業費補助金（当初予算資料 P118）
予算額 7,000 千円
平成 30 年は、萬古焼の創始者である沼波弄山（ぬなみろうざん）の生誕 300 年という記念すべき年を迎える。萬古焼業界が実施する「BANKO300th 事業（沼波弄山（ぬなみろうざん）生誕 300 年事業）」のうち、四日市萬古焼の産業観光の拠点である「ばんこの里会館」を中心に市内で実施される事業や大都市圏での情報発信事業について、事業費の一部を補助し、四日市萬古焼の魅力を伝え、市内外への情報発信を図る。
- ⑥【拡充】シティプロモーション事業費（当初予算資料 P119） 予算額 29,000 千円
シティプロモーションを目的としたイベントを関係部局と連携して大都市圏で開催するほか、三重県等が市外県外で開催する観光 PR イベントに参加する。また、【拡充】プロモーション映像である「四日市物語」のリニューアル、ラジオでのシティプロモーション番組の放送など、多様な媒体を活用した情報発信に努める。

土木費

- ① 近鉄四日市駅周辺等整備事業費（近鉄四日市駅・JR 四日市駅）（当初予算資料 P135）
予算額 54,000 千円
中心市街地の活性化や交通機能の向上を図るため、中央通りを含めた近鉄四日市駅前広場等の整備や J R 四日市駅前広場のリニューアルについての基本計画を策定する。
- ② 【新】鉄道施設耐震対策事業費（当初予算資料 P138） 予算額 2,000 千円
近い将来、発生が危惧される南海トラフ地震などの大規模災害に備えるため、鉄道事業者が行う耐震対策事業に対して、国、県とともに協調補助を行う。
近鉄名古屋線 海山道～新正間 赤堀架道橋の落橋防止対策
- ③ 社会資本整備総合交付金事業費（道路）（当初予算資料 P141） 予算額 394,000 千円
商工業などの経済活動の活性化や交通機能の強化を図るため、国・県道の広域道路ネットワークと連携した市内の道路整備を行う。
小杉新町 2 号線、泊小古曾線、下野保々線
- ④ 防災・安全社会資本整備交付金事業費（交安）（当初予算資料 P143） 予算額 327,000 千円
歩行者が安全に通行できる道路空間の整備や、市民の円滑な移動を支える駅前広場の整備を進める。
富田 21 号線、曾井尾平線、西日野駅前広場（中央緑地西日野線）、内部駅前広場（采女 51 号線）ほか
- ⑤ 防災・安全社会資本整備交付金事業費（道路ストック関連）（当初予算資料 P145）
予算額 295,000 千円
安全で快適な市民生活並びに産業活動を支える道路施設の健全な機能維持を図るため、道路施設修繕計画に基づき、主要道路施設の修繕工事を実施する。
神前桜線、沢の川線、中央緑地西日野線ほか
- ⑥ 産業支援・生活拠点道路再生事業費（当初予算資料 P146） 予算額 356,000 千円
市内の幹線道路となる産業支援道路や、住宅団地を結ぶ生活拠点道路のうち、舗装劣化が進んでいる路線を計画的に再舗装することで、安全で快適な道路の機能維持を図る。また、近年著しい渋滞が発生している交通ネック箇所の改良を進める。
笹川通り（子西八王子線）、中村垂坂線ほか 1 線、山手通り（三重橋垂坂線）、笹川環状 1 号線、西阿倉川 62 号線（阿倉川西富田線交差点改良）
- ⑦ 準用河川改修事業費（当初予算資料 P147） 予算額 198,000 千円
治水安全度の向上を図るため、準用河川の拡幅等の改修を進める。
朝明新川、源の堀川、米洗川中流

消防費

- ① 消防車両整備事業（当初予算資料 P178） 予算額 182,787 千円
消防車両更新計画に基づき、老朽化した車両を更新するとともに、南消防署へ新たに救助工作車を配備し、救助体制の強化を図る。
- ② 【新】消防活動用ドローン整備事業（当初予算資料 P180） 予算額 2,408 千円
災害時において上空から迅速かつ効率的に災害情報を収集するため、消防活動用ドローンを導入し、情報収集体制の強化を図る。

教育費

- ① 小学校統合関連事業費（当初予算資料 P159） 予算額 4,200 千円
笹川東小学校と笹川西小学校を閉校し、平成 31 年 4 月に笹川東小学校に新しい小学校を開校するにあたり、保護者や地域への情報提供を行うとともに、両小学校の閉校準備、新小学校の開校準備を進める。
- ② 海蔵小学校改築整備事業費（当初予算資料 P160） 予算額 471,130 千円
海蔵小学校の学習環境の充実・改善を図るため、老朽化したベランダ形式校舎である既存校舎の解体及び校舎の建築工事を行う。
- ③ 【新】大矢知興譲小学校改築整備事業費（当初予算資料 P162） 予算額 58,800 千円
大矢知興譲小学校の今後の教室不足に対応するとともに、施設の課題を解決し、学習環境の充実・改善を図るため、改築整備の基本計画及び基本・実施設計を行う。
- ④ 大規模改修事業費（小中学校）（当初予算資料 P164） 予算額 335,600 千円
良好な学習環境の確保と施設の長寿命化を図るため、校舎及び屋内運動場の大規模改修を行う。
工事：泊山小学校、笹川東小学校（トイレ改修のみ）
設計：桜小学校、楠中学校、朝明中学校
- ⑤ 普通教室空調設備整備事業費（当初予算資料 P166） 予算額 20,260 千円
良好な学習環境の整備に向けて、平成 31 年度以降、小中学校の普通教室への空調設備整備を P F I 事業により行うための事業者選定を行う。
- ⑥ 【新】学校業務サポート事業費（当初予算資料 P167） 予算額 5,935 千円
教職員の業務負担軽減を図り、子どもたちと向き合う時間を確保するため、授業以外の業務の一部を担う学校業務アシスタントや中学校での部活動を指導する協力員の配置等を行う。
- ⑦ 中学校給食基本構想・基本計画策定事業費（当初予算資料 P168） 予算額 6,993 千円
食缶方式による中学校給食の実施に向けて、平成 29 年度に策定している四日市市中学校給食基本構想を踏まえ、基本計画の策定を行う。

- ⑧【拡充】学校英語教育充実事業費（当初予算資料P169） 予算額 104,998千円
教室で英語を効果的に学ぶ環境整備を進めるとともに、新学習指導要領の実施に向けた英語教育の指導体制を確立するため、中学校における四日市市英語指導員（Y E F）や、小学校における英語専科教員の配置を拡充する。
- ⑨【新】適応指導教室整備事業費（当初予算資料P170） 予算額 4,600千円
不登校児童生徒が増加する中で、より多くの利用者の相談や活動が可能になるよう、適応指導教室の施設改修に向けた設計を行う。
- ⑩【新】公立幼稚園エアコン設置事業（当初予算資料 P99） 予算額 7,103 千円
公立幼稚園の保育室にエアコンを設置し、就学前教育の環境整備を行う。
- ⑪ 特別展等開催費（当初予算資料P175） 予算額 35,640千円
市民の創造性を高め、郷土を大切にすることを育むため、美術や歴史を切り口とした展覧会を開催し、地域力、文化力の向上に資する機会とする。
浮世絵十人絵師展（4～6月）、沼波弄山生誕300年記念萬古焼展（7～9月）、
イタリア・ボローニャ国際絵本原画展（9～10月）、昭和の暮らし（1～2月）

5. 特別会計の主な内容について

(1) 競輪事業 (当初予算資料 P109)

予算額 18,370,000 千円

(²⁹20,376,000 千円)

四日市競輪は記念競輪、西日本カップ競輪を除いて通年ナイターで開催し、車券売上額を確保する。また、競輪開催業務の総合委託を実施するとともに、ドリームスペース屋根改修工事をはじめ適切な施設改修を行い、安全で快適な施設環境の維持を図る。

繰出金については、一般会計に 200,000 千円を繰り出す。

車券売上高 ²⁹19,300,000 千円→³⁰17,180,000 千円 (△2,120,000 千円)

(2) 国民健康保険 (当初予算資料 P88)

予算額 28,117,000 千円

(²⁹33,615,000 千円)

国民健康保険の都道府県広域化に対応していくと同時に、被保険者が必要なときに必要な医療を安心して受けることができ、健やかに暮らせる環境を維持していくため、制度の安定的な運営に努める。また、糖尿病早期発見のため、特定健診検査項目にヘモグロビン A1c 採血検査を新たに追加するなど、従来の特定保健指導や糖尿病性腎症重症化予防事業、ジェネリック医薬品利用促進通知などの保健事業について、保険者努力支援制度を活用しながら取り組み、医療費の適正化をより一層進めていく。

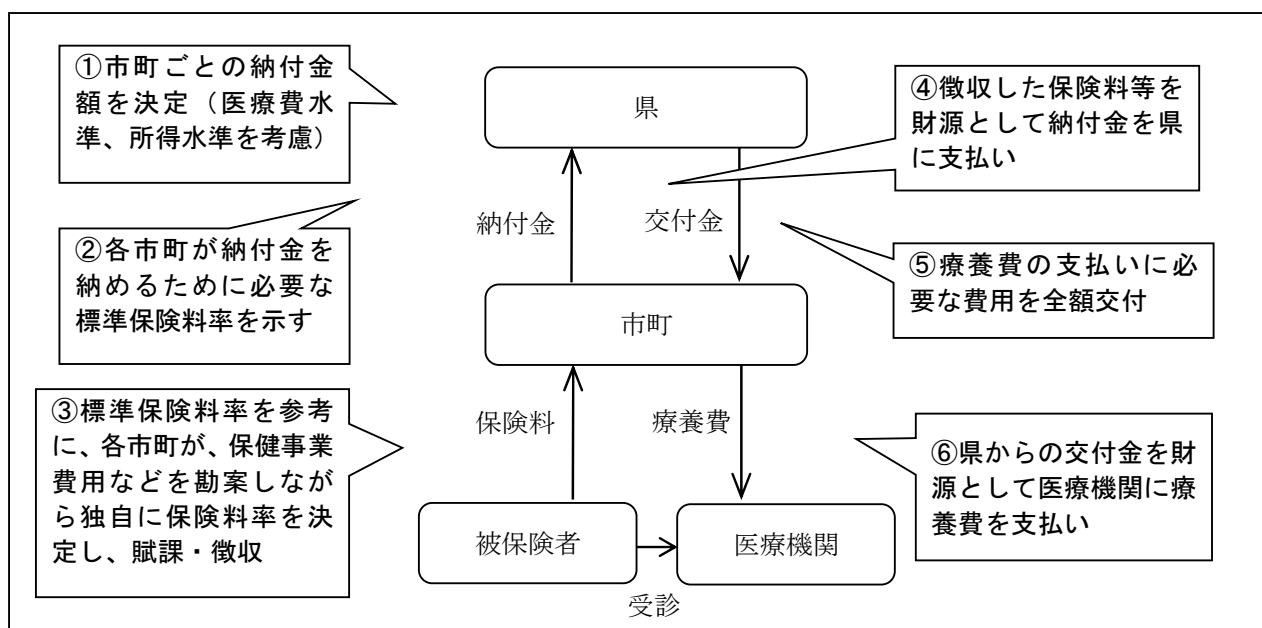
なお、保険料率については、県から現行の保険料率よりも高い標準保険料率が示されたが、基金等を活用し、現行の保険料率を据え置く。

一人当たり保険料 ³⁰97,252 円 (標準保険料率に基づく試算 102,212 円)

被保険者数 ²⁹65,130 人→³⁰60,600 人 (△4,530 人)

一人当たり保険給付費 ²⁹309,885 円→³⁰315,861 円 (5,976 円)

広域化後の保険料の賦課、徴収の仕組み (イメージ)



(3) 食肉センター食肉市場 (当初予算資料 P109) **予算額 759,000 千円**
(**㊹664,000 千円**)

消費者へ、より安全で高品質な食肉を安定供給するため、施設・設備の計画的な更新整備、的確な施設維持・衛生管理を実施し、施設の安定稼働に努める。

施設整備事業費 (アセットマネジメント含む)

㊹110,600 千円→㊺175,800 千円 (65,200 千円)

- ・ 枝肉出庫用ドロPPER等更新工事
- ・ 場内配管更新工事
- ・ 汚水処理施設外壁等改修工事
- ・ 遮音フェンス設置工事 等

施設維持管理事業費 ㊹147,920 千円→㊺158,013 千円 (10,093 千円)

平成 30 年度末市債残高見込 ㊺859,857 千円 (㊹923,188 千円)

(4) 農業集落排水事業 (当初予算資料 P184) **予算額 320,300 千円**
(**㊹342,400 千円**)

農村集落の生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図るため、施設の適切な維持管理を行う。

施設維持管理経費 (1 2 地区) ㊹173,101 千円→㊺165,003 千円(△8,098 千円)

平成 30 年度末市債残高見込 ㊺1,780,950 千円 (㊹1,878,467 千円)

(5) 介護保険 (当初予算資料 P82) **予算額 21,936,000 千円**
(**㊹20,766,000 千円**)

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けて、相談支援体制の強化、必要な介護サービスの提供、医療・介護連携の推進に努めるとともに、「介護予防・日常生活支援総合事業」の活用により、住民主体の介護予防や生活支援の取り組みの充実を図る。

① 高齢者の元気づくり支援事業 (当初予算資料 P84) **予算額 68,185 千円**

高齢となってもできるだけ介護が必要とならないよう、在宅介護支援センター、地域包括支援センター、民間介護サービス事業所のリハビリテーション専門職などとの連携のもと、介護予防意識の啓発、住民主体の介護予防活動・健康ボランティアの育成・支援を進める。

② 介護予防・生活支援事業 (当初予算資料 P85) **予算額 31,488 千円**

地域全体で高齢者を支える「地域包括ケアシステム」を推進するため、地域住民・ボランティアなどによる介護予防や支え合いの取り組みの立ち上げを支援するとともに、「介護予防・日常生活支援総合事業」による住民主体サービスの拡充を図る。

(訪問型：㊹5カ所→㊺8カ所、通所型：㊹9カ所→㊺12カ所)

(6) 後期高齢者医療（当初予算資料 P90）

予算額 6,453,000 千円

(29)5,861,000 千円)

県内の 29 市町で構成する三重県後期高齢者医療広域連合が、75 歳以上の後期高齢者等が加入する医療保険制度の運営主体となり、資格認定・管理、被保険者証の交付、保険料の賦課、医療費給付、後期高齢者健康診査などの事務を行う。市は保険料の徴収や窓口での申請受付などの役割を担う。

被保険者数 29)37,237 人→30)38,922 人 (1,685 人)

後期高齢者医療広域連合納付金 29)5,746,146 千円→30)6,320,738 千円 (574,592 千円)

6. 企業会計の主な内容について

(1) 水道事業（当初予算資料 P182）

予算額 11,034,096 千円

(29)10,235,751 千円)

安全安心で良質な水道水を供給していくため、大規模地震に備えた基幹施設の耐震化を推進するほか、経年施設の更新等を進める。また、取水井の更新にも取り組む。

第 2 期水道施設整備事業 29)2,183,222 千円→30)2,448,823 千円 (265,601 千円)

- ・基幹施設耐震化（基幹管路、水管橋、取水井等）
- ・経年管・経年施設更新
- ・水源確保（取水井更新）等

平成 30 年度末企業債残高見込 30)13,784,901 千円 (29)14,445,822 千円)

(2) 市立四日市病院事業（当初予算資料 P194）

予算額 24,776,877 千円

(29)23,717,164 千円)

第三次市立四日市病院中期経営計画の重点項目に掲げた、大学病院（I 群病院）に準ずる診療機能を有する「医療機関群 II 群病院」の指定の堅持などに向け、医療従事者の充実、高度医療提供のための最新の医療機器の導入や施設の整備などを図る。

- ・高度急性期病院としての質の高い医療提供、MR I 検査待ち時間短縮を図るため、3 テスラ MR I 装置の購入と設置に伴う改修工事等を実施する。

【新】高度医療機能強化事業（3 テスラ MR I 整備事業）（当初予算資料 P196）

（装置購入及び設置に伴う改修工事等） 29)0 千円→30)270,400 千円 (270,400 千円)

- ・老朽化した透析室等の医療環境の改善と集学的がん治療の充実を図るため、救急棟 3 階に人工透析室を移転、その後、内視鏡・X 線 TV 室を移転・改修するとともに化学療法室を拡張整備する。平成 30 年度は、平成 28 年度からの継続事業の最終年度として、化学療法室の拡張工事を実施する。

透析室ほか改修事業 29)287,000 千円→30)196,800 千円 (△90,200 千円)

- ・平成 29 年度当初予算にて導入することとした E S C O 事業において必須項目とした設備改修工事を実施し、市立四日市病院が排出する温室効果ガスと光熱水費の削減を図る。

E S C O 設備整備事業 ㉘0 千円→㉙210,000 千円(210,000 千円)

- ・患者に安全、安心で高度な医療を提供するため、既存機器の更新を含め、生体情報モニタリングシステム及びサーバー、内視鏡システムセンター、ガンマカメラ装置などの医療機器等の整備を図る。

医療機器等整備事業 ㉘650,000 千円→㉙500,000 千円(△150,000 千円)

平成 30 年度末企業債残高見込 ㉙11,002,742 千円 (㉘11,591,394 千円)

(3) 下水道事業 (当初予算資料 P183)

予算額 30,583,327 千円

(㉘29,321,617 千円)

- ・生活環境の向上及び川・海などの公共用水域の水質保全を図るため、污水管渠整備を推進するとともに、既存施設の耐震化や更新に努める。

公共下水道污水対策事業 ㉘4,218,000 千円→㉙5,130,000 千円 (912,000 千円)

平成 30 年度末下水道普及率 ㉙78.7% (㉘77.8%)

【新】公共下水道接続促進補助事業 (当初予算資料 P188) 予算額 54,500 千円

公共下水道への接続促進を図るため、世帯全員の市民税が非課税である者を対象に、公共下水道への接続工事費の 2 分の 1 (補助上限有り) を補助する。

【拡充】共同住宅排水管設置費補助事業 (当初予算資料 P190) 予算額 14,560 千円

未接続の解消を促進するため、公共下水道の供用開始後 3 年を超える集合住宅についても、1 年間に限り、「供用開始後 3 年以内に接続した場合の補助金額の半分」を補助する。

- ・市民の生命・財産を守る「雨に強いまちづくり」を進めるため、市街化区域の雨水排水施設の整備を推進する。

公共下水道雨水対策事業 ㉘5,205,000 千円→㉙5,249,000 千円(44,000 千円)

- ・浜田通り貯留管整備
- ・吉崎ポンプ場整備
- ・新南五味塚ポンプ場整備 等

平成 30 年度末雨水排水整備率 ㉙50.1% (㉘50.0%)

平成 30 年度末企業債残高見込 ㉙82,288,745 千円 (㉘82,938,820 千円)

○平成 30 年度の主な事業を 7 つの基本方針に沿って再掲

子育てするなら四日市、教育するなら四日市

【拡充】子ども医療費助成事業	予算額	1,059,790 千円
【拡充】私立幼稚園保育料第 3 子以降無償化事業	予算額	13,420 千円
民間保育所等整備事業	予算額	895,951 千円
病児保育室整備事業	予算額	28,926 千円
児童発達支援センターあけぼの学園移転整備事業	予算額	1,185,695 千円
【新】公立幼稚園エアコン設置事業	予算額	7,103 千円
【拡充】学童保育推進事業	予算額	472,172 千円
【拡充】学校英語教育充実事業費	予算額	104,998 千円
【新】適応指導教室整備事業費	予算額	4,600 千円
【新】学校業務サポート事業費	予算額	5,935 千円
中学校給食基本構想・基本計画策定事業費	予算額	6,993 千円
普通教室空調設備整備事業費	予算額	20,260 千円
大規模改修事業費（小中学校）	予算額	335,600 千円
海蔵小学校改築整備事業費	予算額	471,130 千円
【新】大矢知興譲小学校改築整備事業費	予算額	58,800 千円
小学校統合関連事業費	予算額	4,200 千円
<u>中央緑地運動施設整備事業費（国体関係）</u>	予算額	4,992,000 千円
<u>中央緑地運動施設整備事業費</u>	予算額	127,800 千円
<u>霞ヶ浦緑地運動施設整備事業費（国体関係）</u>	予算額	817,400 千円
<u>霞ヶ浦緑地運動施設整備事業費</u>	予算額	313,000 千円
文化会館大規模改修等事業	予算額	666,400 千円
		計 11,592,173 千円

地域経済の拡大・活性化

企業立地奨励金交付事業費	予算額	1,350,000 千円
【新】四日市コンビナート先進化推進事業費	予算額	6,000 千円
【新】中小企業 I o T 等活用促進事業費	予算額	4,600 千円
【新】G A P 等認証取得推進事業費	予算額	1,690 千円
【新】萬古焼陶祖・沼波弄山生誕 300 年事業費補助金	予算額	7,000 千円
【拡充】6 次産業化ステップアップ支援事業費	予算額	1,114 千円
【新】農業センター基本構想策定事業費	予算額	3,000 千円
		計 1,373,404 千円

地域力の向上

【拡充】住宅等耐震化促進事業費	予算額 219,266 千円
総合防災拠点整備事業費	予算額 130,000 千円
【拡充】避難施設等整備事業費	予算額 12,240 千円
【拡充】地域防災力向上支援事業費	予算額 44,141 千円
産業支援・生活拠点道路再生事業費	予算額 356,000 千円
社会資本整備総合交付金事業費（道路）	予算額 394,000 千円
防災・安全社会資本整備交付金事業費（交安）	予算額 327,000 千円
〃（道路ストック関連）	予算額 295,000 千円
準用河川改修事業費	予算額 198,000 千円
【新】鉄道施設耐震対策事業費	予算額 2,000 千円
【新】消防活動用ドローン整備事業	予算額 2,408 千円
消防車両整備事業	予算額 182,787 千円
<hr/>	
	計 2,162,842 千円

まちの賑わいの創出

近鉄四日市駅周辺等整備事業費	予算額 54,000 千円
【新】商店街共同施設安全対策事業費	予算額 8,000 千円
<hr/>	
	計 62,000 千円

福祉・医療の充実

【新】高度医療機能強化事業（3テスラMRI整備）	予算額 270,400 千円
認知症高齢者グループホーム建設費補助金	予算額 32,000 千円
高齢者の元気づくり支援事業	予算額 68,185 千円
介護予防・生活支援事業	予算額 31,488 千円
【拡充】検診事業費	予算額 29,654 千円
【拡充】成年後見サポート事業費	予算額 21,652 千円
<hr/>	
	計 453,379 千円

市役所改革

証明書のコンビニ交付事業	予算額 54,774 千円
<hr/>	
	計 54,774 千円

情報発信

【拡充】シティプロモーション事業費	予算額 29,000 千円
<hr/>	
	計 29,000 千円